



しののめYMCAこども園

園だより

2021年度6月号

発行者こども園園長 堀江和広

聖句「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

6月聖句 野原の花がどのように育つかを考えてみなさい。

ルカによる福音書 12章 27節

緊急事態宣言のなかですが、子どもたちは元気に園生活を過ごしています。ご家庭では勿論の事、こども園でも引き続き、うがい・手洗い・消毒を強化し、子どもたちの健康、安全を最優先に今後も保育を行っていきたいと考えております。

5月連休明けより、年少クラスも給食が始まり、保育時間が通常通りになりました。初めての給食でしたが、楽しく食事が出来ました。給食前には「食前の感謝」のお祈りをします。給食は栄養を摂取するだけのものではなく、自然や神様の恵みに気づき、感謝し、いただきたいと思っています。またお友達や先生との楽しい会話や交わりができる、とても大切な時間であると思います。今後も給食の時間を大切にしたいと思っています。

こども園は幼稚園と保育園の機能を併せ持った施設です。保護者の方々も、ご夫婦でお仕事されている方もおりますし、そうでない保護者の方々も多数いらっしゃいます。然しながら、こども園の保育は保護者の方々の就労に関わらず、『こども中心』に展開をしてきました。

『こども中心』という意味には、こどもの健康、安全、命を最優先として位置づけ、保育を展開するという意味が含まれています。特にコロナ禍のなかで、こどもの健康や体調変化には、今まで以上に目を配り、気を配る事が必要だと思っています。こどもが健康であってこそ、日々の園生活を通じて多くの事に、気づき・学び、成長していきます。

幼い子どもたちは、私達大人のように体調や健康の事を伝える事はできません。「どうしたんだろう」「大丈夫かな」「いつもと様子が違う」・・・そのような事を私達大人は、軽視せず、対応しなくてはならないと感じております。コロナ禍の中で、そしてこれから迎える梅雨の中で、子どもたちの健康や安全、そして命を守っていく事は、益々必要ではないかと感じております。今後ご理解ご協力をお願い申し上げます。

園長 堀江和広